

令和5年度 北海道里親会連合会事業実績報告

1. 会議の開催

令和5年度の第1回理事会・定時総会は新型コロナウイルス感染症の影響により、令和5年度事業実績報告及び一般会計収支決算並びに特別会計収支決算報告等について、令和5年5月12日（金）ハイブリッド開催とし審議しました。

その後、第2回臨時総会は理事1名の選出、第2回理事会は参与1名の選出と、議事がそれぞれ1件だったため、書面決議としました。

第3回理事会も議事が参与2名の選出のみであったため書面決議としました、

第4回理事会は令和5年12月21日（木）にリモート開催し、令和7年度の全国大会の開催について、及び全国大会に係る特別会計の開設、一般会計への基金からの繰入について審議しましたが、全国大会の開催、特別会計の開設については総会の決議事項との意見が有り、持ち越しとなりました。

第3回臨時総会を令和6年1月23日（火）にハイブリット開催し、令和7年度の全国大会の開催、全国大会実行委員会会計の開設について審議、開催の決定と、実行委員会会計の開設を決議しました。その中で、基金を特別会計を設けて管理すべきとの意見が有り、寄付金管理特別会計を設置し管理することになりました。

また、同日に第5回理事会を開催し、全国大会実行委員会会計への基金からの繰入について審議、決議しました。

第6回理事会を令和6年3月9日（土）にリモート開催し、令和6年度の事業計画（案）及び一般会計収支予算書（案）、委託事業特別会計収支予算書（北海道委託事業）、令和6年度一般会計の収入不足を補うため、寄付金管理特別会計からの繰入について審議、修正点が多いとの意見が有り、再度理事会を開催することとなりました。

第7回理事会を令和6年3月39日にリモート開催し、令和6年度事業計画（案）、令和6年度一般会計収支予算（案）、令和6年度委託事業特別会計収支予算（案）、令和6年度寄付金管理特別会計収支予算（案）について審議し、予算（案）については決議されたが、事業計画（案）については、「4. 地区組織活動の推進」について、内容をもっと具体的にという意見が有り、後日修正の上各理事の意見を求めた上で決定することとなりました。

令和5年7月3日（月）には各地区里親会事務局長会議をハイブリッド開催し、令和5年度の事業計画及び一般会計等の予算について、令和5年度里親養育包括支援事業について、里親賠償責任保険について令和5年度北海道里親研修大会について及び当面の課題について協議しました。

2. 普及啓発活動の推進

里親制度のPR、里親関連ニュース、行事・イベントや、道の各種里親関連施策の紹介及び里親登録を希望する市民からの相談対応等の普及活動を行いました。ただ、前年に引き続き新型コロナウイルスの影響で十分な活動が出来ませんでした。

里親を増やすための講演会や体験発表の機会を地区里親会と協力して実施していた里親リクルート事業は道北双葉里親会が主管し、令和5年7月1日（土）中富良野町、令和5年8月11日（金）旭川市、令和5年10月14日（土）稚内市で開催しました。

令和5年9月に会報「さとおや」第67号を令和6年3月に第68号を発行し、関係機関・各地区の会員、各都道府県里親会に配布しました。

また、令和5年度もホームページの必要な改訂作業を続けました。

3. 地区組織活動の推進

市町村毎の組織化を図る等の各地区組織の活動に対し支援しました。

また、関係機関（市町村、民生・児童委員・主任児童委員、福祉団体）等の理解と協力を得るよう努めました。

4. 研修会の開催

○ 北海道地区研修大会は、9月9日（土）に空知双葉里親会の主管、岩見沢児童相談所の協力により、ハイブリットでの開催となりました。

このことに伴い「交流会」と「里子活動支援研修会」は実施されませんでした。

○ 例年開催している札幌市里親会との協議については、令和5年8月31日（木）に札幌市里親会主管でリモート開催し、北海道里親会連合会、札幌市里親会のそれぞれの現状について報告、フォスタリング機関の活動状況、全国里親大会の開催について協議しました。

第2回目は北海道里親会連合会主管でリモート開催し、令和7年度に開催予定の全国里親研修大会の開催要綱について協議しました。

例年開催している札幌市里親会の里親フォーラムについては令和5年度は案内がありませんでした。

○ 「北海道里親養育包括支援事業」（北海道委託事業）は令和5年度は新型コロナウイルスの影響も薄れ、各地区ともほぼ集会型で講演会などを開催しました。

5. 激励会、行事等の開催

中学、高校卒業生等を対象としたお祝い会なども集会型で開催するなど少しずつではありますが、従来の姿に戻りつつあります。

各地区での委託・未委託里親・里子を交えた交流と自立を支援する集いも同様の状況でした。

6. 慰問等の実施

各地区で、子どもの日、年末・年始等に委託児童を慰問し玩具・図書券などを贈呈しました。

7. 顕彰事業

令和5年度は、北海道地区里親研修大会がハイブリット開催となったため、開催地区が

代表で授与式を実施し、その他の地区については、北海道里親会連合会会長表彰の贈呈は各児童相談所を通じて実施しました。

令和5年度は7組（人）の方々が受賞されました。その他、全国里親会会長表彰3組、北海道知事表彰9組（人）（札幌市の2組を含む）の方々が受賞されました。

8. 各種集会等の参加

令和5年度は、鈴木会長が日胆はまなす里親会の研修会、くるみ里親会の里親研修会並びに「里親ねぎらいの集い」に講師等として参加しました。

9. 里親安心サポート事業の取組

里親委託している子どもが事故に遭ったり、又は事故などを起こして里親に賠償責任が生じた場合に、経済的損失を保障する「里親賠償責任保険」の令和5年度における契約事務及び会員の加入取り纏めを行いました。

令和5年度は、施設賠償責任保険が250名、個人賠償責任保険が147名でした。

令和5年度は事故報告が3件ありました。

10. その他

里親制度のPRにとって重要な位置を占める里親リクルート事業については、令和5年度は十勝地区里親会の主管で、幕別町で実施しました。

独自の里親リクルート事業の実施については、道北双葉が中富良野町、旭川市、稚内市で実施しました。

独自に実施した際にも事業費を助成できるので、実施する際は事前に連絡をください。

その他、地区里親会では、広報誌などの発行によりPRに向けた努力を進めました。